

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 1組～7組
教科担当者：（1～7組：河合 茂晴）
使用教科書：（美術2（光村図書出版）

教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】知識を付け、技能を学んでいるか。身に着けた技能を活用している。
【思考力、判断力、表現力等】理解していること、出来ることを活用している。
【学びに向かう力、人間性等】知識・技能の獲得、思考・判断・表現力を身に着けることに粘り強く取り組んでいる。

科目	美術Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映	鑑 賞					
1 学 期	静物デッサン 【知識及び技能】 構図や透視図法、立体感、質感の表現方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 デッサンの目的を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構図・形体 ・透視図法 ・立体感の表現 ・質感の表現 ピンと石鹸箱、布をモチーフに、鉛筆でデッサンをする。	○			○	【知識及び技能】 構図決定の注意点や透視図法、立体感や質感について理解し、描き表そうとしているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に描き表せているか。 【学びに向かう力、人間性等】 デッサンの目的を理解し、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	12
	色彩構成 【知識及び技能】 色のイメージと構成、色彩の三属性素について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に自己の表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩構成や色のイメージ、色彩の三属性について理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構成 ・色のイメージ ・色彩の三属性（色相/明度/彩度） 色のイメージと、構成と色彩の三属性3要素への理解とむすび付けさせ、色彩構成の基礎について身に付けさせる。		○		○	【知識及び技能】 色のイメージと構成、色彩の3要素について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に自己の表現に生かしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩構成や色のイメージ、色の3要素について理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	12
2 学 期	油彩画「静物画」 【知識及び技能】 油彩画の特質や構図、立体感、質感の表現方法と適切な色づくりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 対象を見つめ、油彩画の表現の特質について理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・構図・形体 ・立体感の表現 ・質感の表現 ・適切な色づくり 油彩画の特質について理解を深めながら、油彩画の表現を身に付けさせる。	○			○	【知識及び技能】 構図や立体感、質感の表現方法と適切な色づくりについて理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かしているか。 また、複数の対象物を適切に表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 対象を見つめ、油彩画の表現の特質について理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	20
	想像上の生き物の創出 【知識及び技能】 生き物の特性とデザインとの関係性や構図などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な表現を模索し、デザインについての理解を深め、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・オリジナリティのある生物の創出 ・適切な画面づくり ・特性とデザインの関係性 食性や特質など、生き物についてのイメージを具体的に膨らませながら、発想力をもって表現する。		○		○	【知識及び技能】 生き物の特性とデザインとの関係性や構図などについて理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な表現を模索し、デザインについての理解を深め、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	8
3 学 期	漆置き制作 【知識及び技能】 造形における単純化、陶土の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かす。 【学びに向かう力、人間性等】 陶土の特性を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組む。	・陶土の扱い方 ・単純化 ・立体の表現 テーマを設定し、陶土を素材に箸置きを制作する。	○			○	【知識及び技能】 造形における単純化、陶土の扱い方について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 上記の項目について効果的に表現に生かしているか。 【学びに向かう力、人間性等】 陶土の特性を理解し、関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいるか。	○	○	○	16
	鑑賞 【知識及び技能】 日本と世界の美術史について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間が築いてきた美術文化がどう形成されてきたか理解し、ワークシートに記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 美術史に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	・日本美術史 ・世界美術史 日本美術史・世界美術史に関わるDVDを鑑賞し、ワークシートに記入する。				○	【知識及び技能】 日本と世界の美術史について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 人間が築いてきた美術文化がどう形成されてきたか理解し、ワークシートに記入できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 美術史に関心を持ち、主体的に鑑賞できているか。	○	○	○	2 合 計 70